

**広域災害に強い日本を目指して  
～自立と自律を支える姉妹都市構想～**

**平成23年10月6日  
株式会社 日立製作所  
公共システム事業部**

# 1. 弊社の震災復興・復旧対応状況

## 1. 震災への対応

- 想定外の広域対応  
(岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県が大きく被災)
- 復旧への全力対応(原子力発電・火力発電の復旧支援)
- 復旧に向けての現場の底力を再認識

## 2. 復興への対応

- 生産活動の強化  
(国内生産の強化とグローバル展開の推進)
- 調達サプライチェーンの強化
- ピーク電力削減への対応  
(国際競争力のある材料系には電力を)

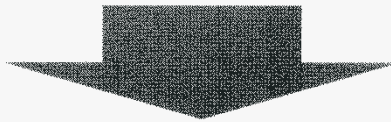
## 2. 東日本大震災からの学び (1/2)

分野	学び
医療	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 被災地でのカルテ紛失に伴う治療歴(服薬・基礎疾患等)不明を回避するバックアップの重要性</li><li>➤ 被災地の健康被害状況を踏まえた、支援地域からの医療スタッフの受け入れと配置適正化の必要性</li><li>➤ 地域で必要な医療サービス(内容・量)を踏まえた、被災直後から復興時までの中期をカバーする備蓄・供給体制の重要性</li></ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 戸籍等、国家を支える重要なデータのバックアップと速やかな復旧の重要性</li><li>➤ 情報の断絶と氾濫による被災地支援の需要と供給のミスマッチ解消</li><li>➤ 行政機能の被災による被災者への支援(人・物・金・情報の流れ)停滞の解消</li></ul>

## 2. 東日本大震災からの学び (2/2)

整理すると、以下が重要ではないか。

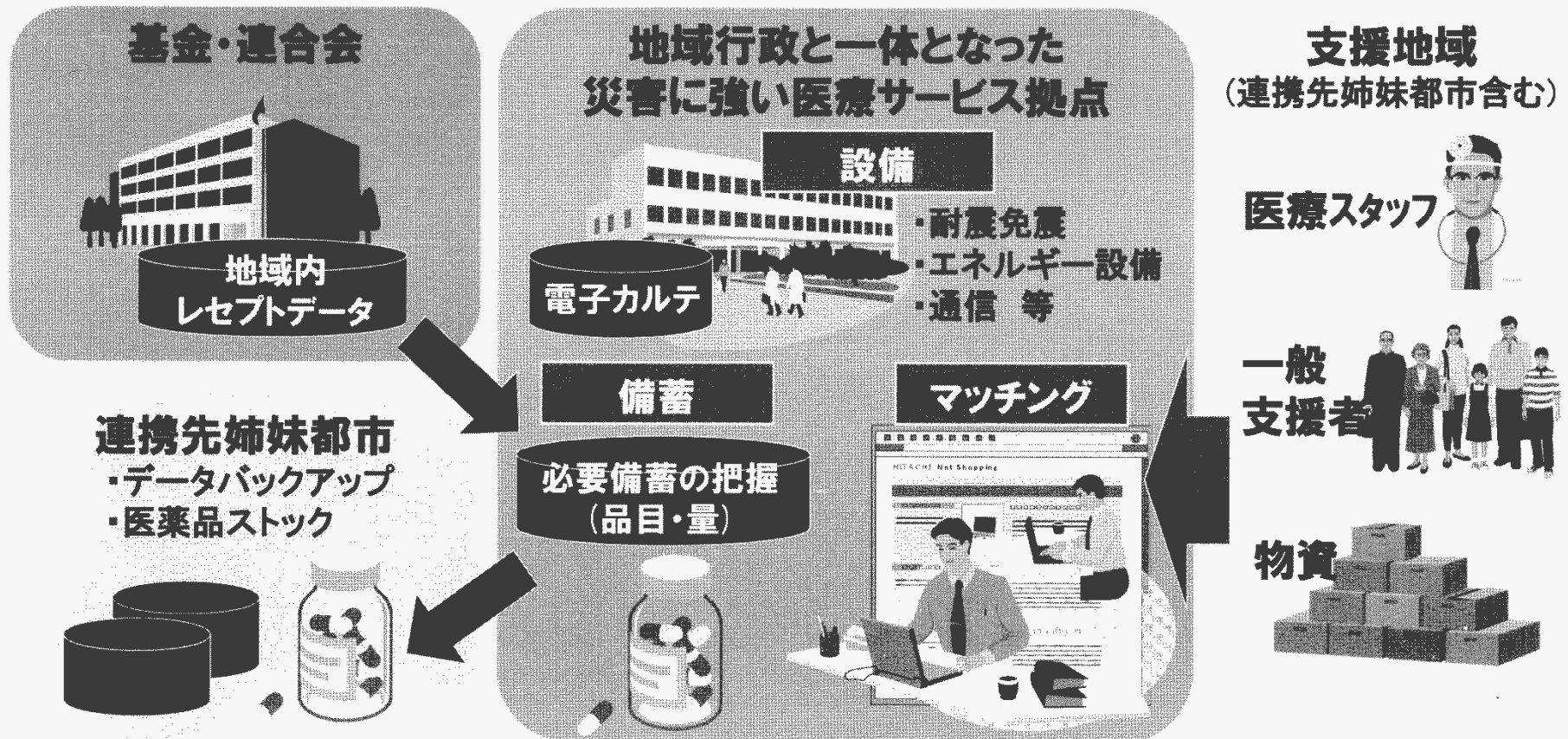
- ① 情報の喪失・寸断を防止するバックアップ・ルート確保
- ② 混乱を防止する充分でタイムリーな情報の提供・共有
- ③ 情報の分析による適切な計画策定とストック確保



情報を共有・活用・保管する仕掛けを整備し、  
自立と自律を支えるために互いに協力＝姉妹都市構想

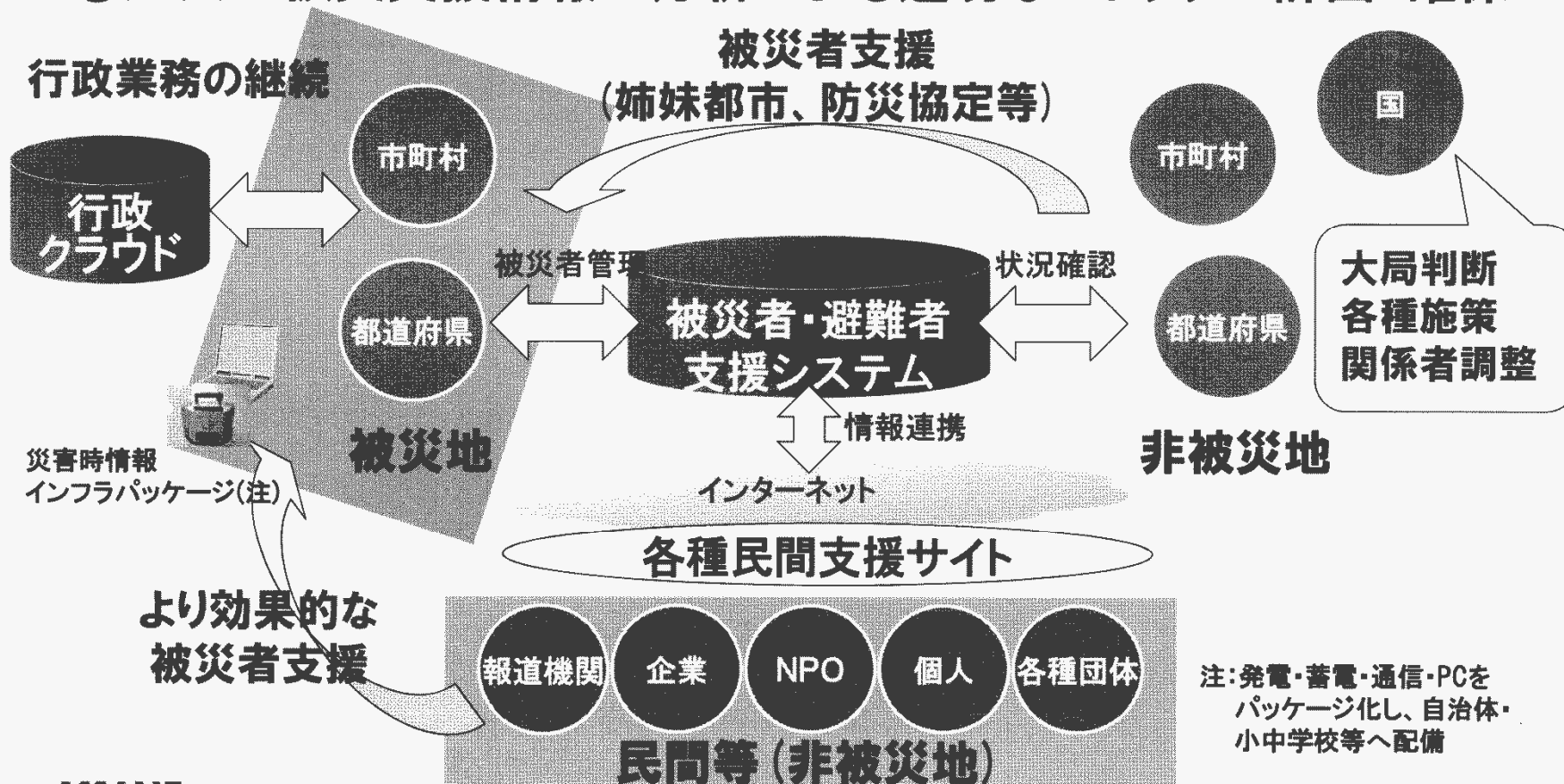
### 3. 医療分野：医療姉妹都市構想

- ①医療データバックアップ強化による損失回避と早期復旧の実現
- ②ITを活用した支援者と現地の医療サービスマッチングの支援
- ③既存の医療電子データを活用した必要薬品備蓄の確保



# 4. 行政分野：行政機能姉妹都市構想

- ①災害に強い場所での行政情報の保管と業務の継続
- ②被災者・被災支援情報を把握し、マッチングする基盤の整備
- ③過去の被災支援情報の分析による適切なストックの計画・確保





## 5. 実現に当たっての課題

分野	実現に当たっての課題
医療	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 医療データを「社会の安全・安心」を高める目的で広く利用するための、関連規制緩和と世論醸成</li><li>➤ 本人と医療データを効率的かつ正確に結び付ける社会制度とインフラ整備(共通番号等の活用)</li></ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 行政クラウドを進めるための戸籍法、個人情報保護条例他の見直し</li><li>➤ 被災者の復旧から復興を一貫して支える統合管理基盤の運営主体者決定(国又は広域県か)</li><li>➤ 本人と行政データを効率的かつ正確に結び付ける社会制度とインフラ整備(共通番号等の活用)</li></ul>

**HITACHI**  
Inspire the Next